R3.5/7

支会長・理事長会提案内容の補足説明資料

宮教研連　事務局

　各議案について、特に、補足説明が必要な部分や昨年度から変更がある箇所について、説明を加えています。議案書を参照して内容を御確認ください。

第１号議案（報告）　令和２年度 事業報告について　　議案書p.1

　令和２年度本会事業につきましては、コロナ禍の中ではありましたが、皆様のご理解とご協力によりなんとか、書面やオンラインで実施することができました。有り難うございます。

　なお、一部の事業がやむなく中止とせざるを得ない状況になったことは誠に残念です。なお、令和２年８月に宮崎市で開催予定でありました「教育研究全国大会」は、令和５年度に再び宮崎市で開催することになっております。

第２号議案（報告）　令和２年度 決算・監査報告について　議案書p.2～３

　令和２年度本会予算執行につきましては、皆様のご理解とご協力により順調に執行することができました。深く感謝申し上げます。以下、執行状況について補足説明させていただきます。

(1) 収入の部について

会費は、会員数と会費割引を見込んで計上しておりましたが、会費割引が予測よりも少なかったため、当初予算額に比べ、１７２,８００円の増額になりました。

(2) 支出の部について

決算額と予算額が大きく異なる項目についてその理由を補足します。

〇　会議費

・代表委員会は書面で実施し、支会長・理事長会も書面またはオンラインで実施した関係で、１５６,000円程度の残額となりました。

〇　事務局費

・消耗品の節約に努めました。

・通信運搬費については、対面での会議が実施しできず、資料等の郵送を多用したたええめ、予算額を上回る執行となりました。

○　印刷費

・会報のＷｅｂ発行や会員名簿を事務局での印刷としたため、執行を抑えることが出来ました。なお、年度末に発刊した「会誌」については、日本教育公務員弘済会宮崎支部からの補助金でまかなっております。

〇　研修費

・令和２年度は、宮教研連主催の全ての研修をオンラインや書面で実施したことにより、講演会費・研究活動費の執行が少なくなっています。

・教育研究全国大会と全日教連定期大会は、中止や書面での実施のため、予算執行はありませんでした。

・教育シンポジウムはオンライン開催、台湾派遣研修及びその他の全日教連行事も、中止やオンライン開催となりました。参加者には、旅費・日当の代わりに、オンライン通信費補助を行いました。

○　雑費

・雑費は、社会保険料や労災保険料を支出しておりますが、年度当初、誤って予算額を少なく見積もり過ぎており、予算額を上回る支出となりました。

○　予備費

・コロナ禍のため、全日教連関係の研修が大幅に縮小された関係から、会員一人あたり千円の会費返金を行いましたので、予備費から支出させて頂きました。

　　(3) 繰越金について

収入合計から支出合計を引いた残高1，164，992円を、令和３年度に繰越しさせて頂きます。各支会からの県会費納入が６月以降になるため、年度当初の運営資金として確保させて頂きました。

第３号議案　規約改正（案）について　議案書p.4

　○　ここ数年間、会員の減少傾向に歯止めがかからず、事業の運営に支障が出ている状況があり、県本部体制の強化のため、副理事長を３名体制に増員し、本会事業の改革を進めたいと考えます。

第４号議案　令和３年度県本部役員（案）について　議案書p.5～6

　○　第３号議案の副理事長を３名に増員した案で、提案します。役員は議案書ｐ.５上方の表の通りです。副会長については、支会の輪番となっております。なお、副会長の西臼杵地区支会長様には、全日教連管理職部委員をお願いしますので、よろしくお願いします。

第５号議案　令和３年度努力目標及び事業計画について

(1) 努力目標について　議案書p.7

○　努力目標については、【組織の強化・拡大】について、令和元年度末の支会長会で、「新規会員の加入促進」が重要であるとの意見があり、強調する意味で、先に記述しました。

○　具体的取組の中での変更点

　・研究員については、これまでの１年間８名から、毎年４名で２カ年体制に移行しています。当該年度は、８支会のうちの４支会から研究員を出して頂きます。令和３年度は、南那珂・都北・西都児湯・延岡の４支会から出して頂くことになります。

　・新規会員獲得に向け、昨年度から、会費の一部減免制度を拡充しています。これまでの加入１年目の半額減額に加え、2・3年目の会員や再任用会員の減額を行っています。今年度は、副理事長を増員し、組織対策会議担当として、新会員加入促進対策を推進します。

　・情宣活動として、ホームページ、ブログ、メールグループの活用促進を図ります。紙媒体での広報を極力減らし、メール配信での情報提供に力を入れていきます。ぜひ、全会員が加入されるようお願いします。（今回の送付の資料の中にも、メールグループへの加入案内を付けています。）

(2) 事業計画について　議案書p.8

　○　昨年度、「新型感染症対策ガイドライン」を策定しましたので、これに基づいて、事業の推進を図っていきます。令和３年度につきましては、例年並みの研修会を計画しておりますが、オンラインや書面での開催が多くなってしまうと考えられます。ご理解をお願いしたいと思います。

　○　今年度、１２月に九州ブロック会議が宮崎市で開催され、宮教研連が主管団体となります。全日教連と九州４団体の代表が集まり、情報交換や研修を行います。なお、状況が許せば、研修の一部を会員参加型にする方向で検討を進めております。時期が来ましたら、ご案内いたします。

第６号議案　令和３年度　予算（案）について　議案書p.9

今年度も、新型コロナウイルス感染症対応により、各種研修の開催が難しい状況も予想されます。緊急事態宣言等で、中止が重なった場合は、研修費未執行分の取扱い（一部還元など）についても検討します。今後とも、経費節減に努めてまいりますので、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、今年度、予算案書について見直しをおこないましたので、最初にご説明します。

①　助成金を加えた予算書としたこと

昨年度までは、助成金を別会計とし、予算案・決算報告からは除外しておりました。しかし、透明性を確保する観点から、予算書・決算報告に組み込むことに致しました。

　　　②　支出の部の費目の変更

予算の支出内訳を明確にするため、支出の部を、事業費と管理費、その他に大別し、さらに、費目の一部見直しを行いました。

　(1) 収入の部について

・会費については、会員数を７６０名と見込んで、

１，４００円×１２月×７６０名＝１２，７６８，０００円

上記の計上額から１年目会員（新規会員）を６０名と２・３年目の会員各５０名分の減額を

計８６４，０００円と見込んで、会費計上額を１１，９０４，０００円としました。

・助成金として、日本教育公務員弘済会宮崎支部から１００，０００円、日本教育文化研究所（全日教連）から１６０，０００円の助成を見込んでいます。

・寄付金１０，０００円は、昨年度契約しましたＷｉｆｉ契約で、「キャッシュバック」がありましたので、今年度の収入に入れさせて頂きました。

　(2) 支出の部について

〇　事業費　本会の事業に直接関わる予算となります。

・研修費については、一部をオンライン化することなど、切り詰めることで２０万円程度の節約が可能と見込んでいます。

・全国研修費は、教育研究全国大会宮崎大会の開催はありませんので、例年程度に縮減しました。

・福利厚生費を新設しました。会員の慶弔費などです。これまでは、雑費や予備費から支出していました。

　○　管理費　本会の運営に関する費用です。できるだけ縮減に努めましたが、雑費などから支出していたものを整理した関係で、若干の増加になっています。

・会議費は、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大への対応により、書面等による評決などになると考えられるので、昨年度実績を考慮して、減額しました。

・消耗品費、印刷製本費、旅費交通費も節減に努めます。

・通信運搬費については、諸会合等の対面開催中止に伴い、刊行物等の手渡しができない状況も予測されるので、増額計上しています。

・人件費については、事務局職員の交代に伴い、年齢が若くなり社会保険料が増えるため、増額しています。

・備品費は、事務局の固定電話機老朽化に伴う入れ替えのための経費です。

　　○　その他の経費

・負担金は、全日教連、教文研、その他の会費です。青少年健全育成県民会議等への会費は、過去、雑費から支出していましたが、今回、費目を新設し計上しました。

・予備費として、１００万円を計上しています。１か月あたり、最低２５万円程度が運営に必要なため、４月から７月までの４か月分を計上しています。

第７号議案（報告）　令和３年度　研究員制度について　議案書p.１０～１１

　研究員については、昨年度にご承認を頂いていますように、これまでの１年間８名から、毎年４名で２カ年体制に移行しています。８支会のうちの４支会から研究員を出して頂き、翌年度は、残りの４支会から出して頂くことになります。制度の変更はございません。

　令和３年度は、南那珂・都北・西都児湯・延岡の４支会から出して頂くことになります。

◆R2年度研究員

　令和２年度の研究員の方は、８月の「宮教研連のつどい」または１２月の「九州ブロック会議」での研究発表をお願いします。それに向けての、準備を６・７月に行いますので、その旨を、研究員にお伝えください。なお、昨年度末に人事異動で支会間をまたいで異動されている研究員もいらっしゃいますので、その方へは、県本部から直接連絡させて頂きます。

　今後の進め方

|  |  |
| --- | --- |
| R３.４/２４ | 研究員研究会（中止）　研究論文最終提出 |
| R3.5/22 | 研究員研究会　発表資料・プレゼンなどの確認 |
| R3.6/26 | 研究紀要等の発行 |
| R3.8/28 | 宮教研連のつどい　研究発表（３名予定） |
| R3.12.11 | 九州ブロック会議　研究発表（１名予定） |

◆R3年度研究員

　令和３年度の研究員の方へは、本日の資料に研究員用の資料を入れておりますので、研究員にお配りください。本来は、直接ご説明すべきところですが、コロナ禍下で、４月２４日の研究会は中止し、書面の配布に代えさせて頂きます。

　当面の予定として、研究計画書の提出が５月２２日までになっております。

　なお、まだ、研究員を報告頂いていない支会がございますので、至急お知らせ下さい。

　今後の進め方

|  |  |
| --- | --- |
| R３.４/２４ | 研究員研究会（中止）　県研究部からの説明➡資料配付 |
| R3.5/22 | 研究員研究会への参加、R２年度研究員の報告を聞く（任意） |
| R3.6/26 | 研究計画書の提出 |
| R3.8/28 | 宮教研連のつどい　参加 |
| R3.１２月 | R4年度全国大会発表者の決定 |
| R４.2/19 | 研究員研究会　研究論文仮提出 |
| R4.４月 | 研究論文最終提出 |

第８号議案　令和３年度　教師力向上セミナー（案）について　議案書ｐ.１２

　名称を昨年度の「教師力向上研修」から「教師力向上セミナー」に代えています。少しでも、参加のハードルが下がればと思っています。

　内容はご覧の通りです。２回目・３回目は、感染症の心配が無ければ、小林市・日向市で開催したいと考えています。

　若手教職員の参加を図り、入会につながればと考えていますので、広報・周知をお願いします。

第９号議案　令和３年度　スクールマネジメント研修（案）について　議案書ｐ.１３

　内容はご覧の通りです。ミドルリーダーや管理職の先生方を主な対象として計画しています。ぜひ、広報・周知を図り、多数のご参加をお願いしたいと思います。

　第１回目は、６月２６日に管理職試験対策の内容を行うよう計画しています。第２回目は、県教育委員会OBの先生、第３回目は企業経営者の方をそれぞれ講師にお招きし、ご講話をお願いする予定です。

第９号議案　令和３年度　第７回宮教研連のつどい（案）について　議案書ｐ.１４

　今年度は、８月２８日（土）午後の開催で計画しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の心配が無くならない限りは、大人数での会場での開催は難しいと考えています。

　６月末の正式なご案内までには、開催方法を決定したいと思います。

　内容は、研究発表と記念講演です。研究発表は、昨年度の研究員の方にお願いします。記念講演は、昨今の課題でもある「令和の日本型教育」などに関する内容を取り上げようと準備しております。講師の先生は目下人選中です。

★連絡事項について

１　表彰者の確認について

ｐ．６の中段「(1) 表彰者」の表をご覧ください。各支会、間違いなかったでしょうか？

表彰は５月２９日の代表委員会で実施の予定でしたが、中止となりましたので、後日、各支会へお届けします。支会での研修会などの際に手交して頂けると有り難いです。

２　新型感染症対策に伴う研修会等の開催ガイドラインについて　議案書ｐ.１５～１７

　昨年１０月の臨時支会長・理事長会でご承認頂いたガイドラインです。これに則って事業を進めて参ります。

３　Ｚｏｏｍアカウントの支会での使用について　議案書ｐ.１８

　県本部では、Ｚｏｏｍの有料アカウントを取得しています。しかし、県でも月数回の使用にとどまっています。各支会でご活用頂くようご案内しますので、ぜひ、支会の研修会や会議等にご利用ください。昨年度は、２つの支会でご利用頂きました。

４　宮教研連後方メールグループ（ＭＫＫＲ－ＭＧ）への加入について　議案書ｐ.１９

　会員への直接の情報提供手段として、昨年度からメールグループ（メーリングリスト）を運用しています。ぜひ、多数の会員の参加をお願い致します。各支会での研修の際に、このＱＲコードを提示して、参加者にスマホで読み取って頂いて、その場での加入を促すなど、対応して頂けると有り難いです。

　なお、過去、紙ベースで発行しておりました会報は、紙での発行は最小限にして、メインはこのメール配信に致しますので、どうぞ宜しくお願い致します。

５　各支会役割分担ローテーションについて　議案書ｐ.２０

　代表委員会、支会長理事長会、全日教連関係出版物の執筆の分担表です。感染症等の対応で、中止になる場合もありますので、変更の可能性もあります。

６　県外研修予定及び参加割当について　議案書ｐ.２１

教育研究全国大会は中止となりましたので、派遣はありません。その他の研修もどうなるかは、分からない部分もありますが、一応、この予定で進めます。

７　全日教連共済会保障制度　議案書　ｐ.２２

　全日教連が運営している保障制度のご紹介です。積立年金制度、訴訟費用保険制度、収入保障制度、いずれも、全日教連団体割引でお安い掛け金と有利な保障内容になっていますので、各支会でご紹介ください。すでに、積立年金については、パンフレット等をお送りしています。今後も、他のパンフ等が来ると思いますので、周知の方、宜しくお願いします。

８　各支会からの提出物等について　議案書ｐ.２３

　支会長・理事長様には、お忙しい中に大変だと思いますが、ぜひ、期限をご確認頂き、ご協力をお願い申し上げます。今後も、様々、お願いすることが多いと思いますので、宜しくお願いします。

　なお、今後も、連絡はメールなどを活用していきますので、併せて、宜しくお願いします。